

えんがわ

第13号

企画展

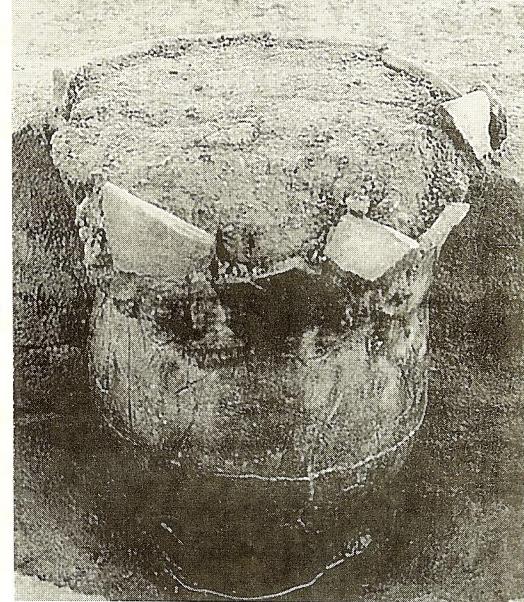
遺跡からのメッセージ

～金原遺跡最新出土品展Ⅱ～

平成10年8月13日から10月25日まで

金原遺跡の発掘は平成16年に予定されている埼玉国体のアーチェリー会場である（仮称）金原運動公園の建設に伴う事前の調査として行われています。今までに先土器時代（約14,000年～13,000年前）のナイフ形石器や細石刃、縄文時代早期後半（約7,000年前）の住居跡や炉穴（屋外で火を燃やした跡）、縄文時代中期後半～後期前半にかけての竪穴住居跡や方形柱穴列（掘立柱建物跡）、埋設土器（埋甕）、土坑（貯蔵穴などに用いられた穴）などが多数発見されました。

郷土資料館では金原遺跡発掘出土品の企画展示を8月13日から10月25日にかけて行います。あわせて、遺跡セミナー（講座）や現地説明会を開催し、いにしえの金原遺跡の人々が使った道具などから、郷土宮代の先人の文化を思い巡らしてみてはいかがですか。



金原遺跡 8号住居跡埋設土器

◆金原遺跡探訪ツアー～見て・聞いて・語り合って遺跡体感

遺跡セミナー（講座）や企画展示の解説、金原遺跡現地説明会がセットになった遺跡探訪ツアーで、金原遺跡について詳しくることができます。

●遺跡セミナー「金原遺跡とその時代～全国の発掘調査事例から～」

講師 熊谷市教育委員会・宮代町史監修者 鈴木敏昭氏

●企画展「遺跡からのメッセージ～金原遺跡最新出土品展Ⅱ～」の展示解説

●現地説明会「時を超えて～金原遺跡現地見学会～」

日時 平成10年9月6日（日） 9：45～14：40 宮代町役場集合

定員 40名（町有バスで移動します。昼食は各自持参）

受付 事前に郷土資料館へ（定員になり次第、締め切らせて頂きます。定員の関係で本ツアーに参加できなかった方々も現地説明会には是非ご参加下さい。）

◆現地説明会「時を超えて～金原遺跡現地見学会～」

発掘された縄文時代のムラの跡が見学できます。また、発掘事務所1階では写真パネルや土器、石器等を展示し身近に見ることもできます。

日時 平成10年9月6日（日） 10：00～11：20

受付 当日10:00までに現地へ集合

先土器時代の金原遺跡

金原遺跡に人々が暮らし始めたのは、隣の前原遺跡（現在の前原中学校周辺）と同じころにあたる約14,000年前頃からと考えられています。このころは関東ローム層（赤土）が堆積した終末期に当たり、発掘された石器もこの層の中から出土しました。関東ローム層は浅間山などの火山活動により噴出された火山灰が堆積し形成されました。金原遺跡からはそのころの人々が使ったナイフ形石器と呼ばれる皮を剥いだり槍の先に用いられたと考えられる石器が3点出土しています。

約13,000年前になると細石刃という約3cm程の縦長の剥片を鹿の角などの柄の両側に10数個並べて取り付けて使用した石器が出現します。この石器も関東ローム層中から出土しました。金原遺跡では細石刃を製作した跡と考えられる遺構が1か所確認されていますが、埼葛地区や北足立地区に広がる大宮台地では発見されることが少なく、宮代町逆井遺跡に続き2例目の発見例です。

縄文時代の金原遺跡

縄文時代になると約7,000年前から約3,500年にかけての住居跡や屋外で火を使った炉穴、貯蔵穴などの土坑、胎盤等を収納したといわれる埋甕などが発掘され縄文人がムラを造り生活を営んでいたことが明らかとなりました。

金原遺跡で最もムラが大きかった時期は縄文時代後期（約3,500年前）で18



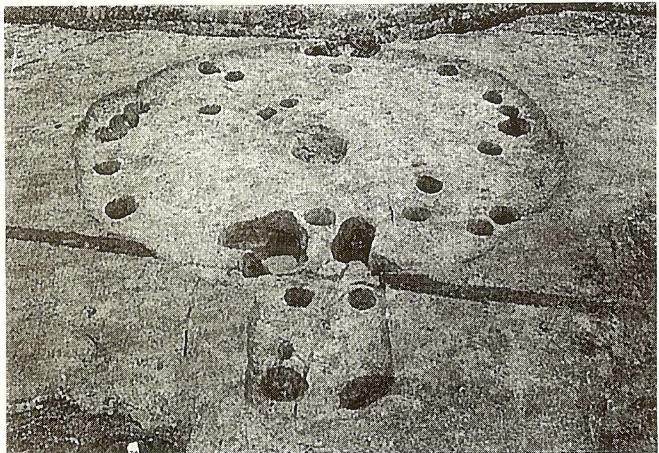
出土した細石刃



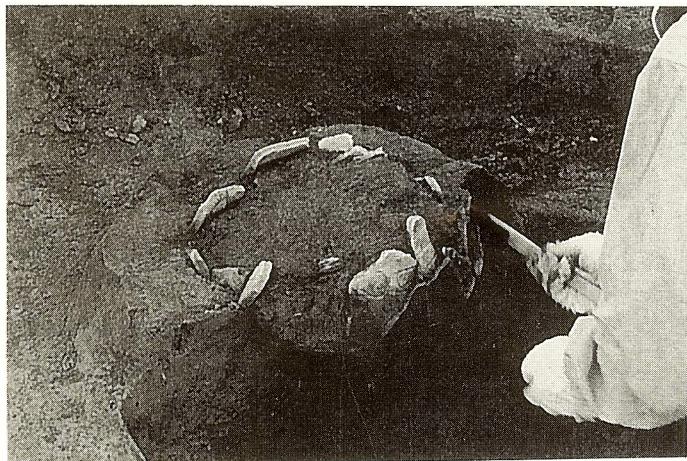
調査風景



226号土坑出土土器



金原遺跡 7号住居跡



1号埋設土器



石斧の出土状況

軒ものの住居跡が湿地（海、沼）に面し半弧状に並んでいました。しか�数軒の住居が重ねてつくられた跡も確認されています。住居をつくり生活するには絶好の場所だったのかもしれません。

この頃の住居跡は手鏡のような形をしていて出入り口（玄関）がほぼ南に張り出しています。また、玄関に入ったところには胎盤を収納したり幼児を埋葬したといわれる埋甕が配置されていました。住居跡のほぼ中央付近には煮炊きをするために火を使った跡が発見されています。それより昔の約7,000年前には住居内で火を使うことが定着していなかつたらしく、現在のバーベキューのように屋外で火を使った跡が住居の周辺などで発見されています。

この他、住居跡の周辺には食物などをたくわえていた貯蔵穴や土器を捨てた穴、墓穴など多くの穴の跡が約300基見つかっています。この穴の多くは弧状に並んだ住居跡付近に集中していました。

住居跡が並んでいる少し東側では7本の柱からなる掘立柱建物跡が発見されました。この周囲からは多数の土器も出土しています。この建物跡は竪穴住居跡とは違う性格をもった建物であるといわれています。

また縄文人が狩猟の時に弓矢として矢の先につけて使った矢じりや、穴を掘ったりするときなどに使った石斧や調理の時に使った石皿などが出土しています。

ぜひこの機会に金原遺跡を御覧になり、縄文人の息づかいを感じてください。

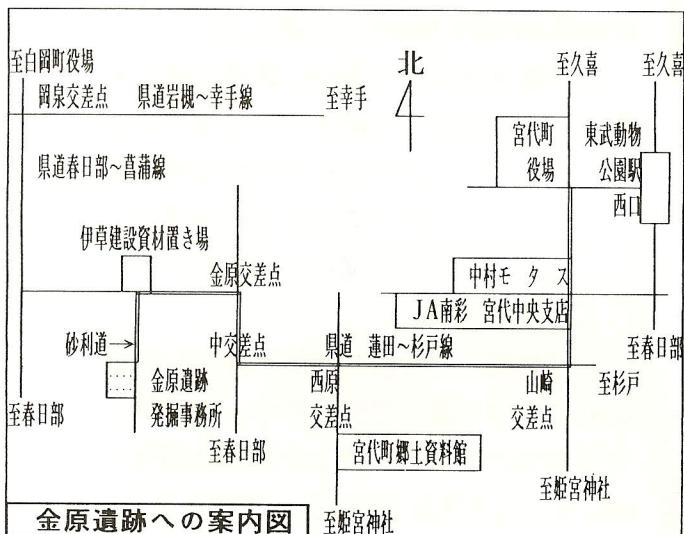
資料館日誌抄

平成10年

- 1月29日 企画展「ひなまつり」
(3月29日まで)
- 3月 1日 地土史講座「人とモノ歴史物語
(5回講座) ~宮代の交流史~」
- 3月 1日 第1回 「縄文人の旅」
- 3月 8日 第2回 「古代の宮代と河川交通」
- 3月15日 第3回 「中世の道~宮代の古道を探る」
- 3月22日 第4回 「町内見学会」
- 3月29日 第5回 「江戸時代の人と交流」
- 4月17日 宮代町立百間小学校見学(123名)
- 5月13日 春日部市立内牧小学校見学(110名)
- 5月21日 宮代寿大学見学(40名)
- 5月28日 企画展「新発見 古文書・絵図展」(8月9日まで)
- 6月 6日 拓本講座(初級編)
- 6月18日 彩の国いきがい大学見学(13名)

資料館行事予定(7月~9月)

- 7月29日 体験学習 夏休み体験学習教室「進修学校」(4回講座)
- 7月29日 一日目 かざぐるま／ひもごまづくり
- 7月30日 二日目 お手玉づくり
- 7月31日 三日目 水鉄砲づくり
- 8月 1日 四日目 犀づくり
- 8月 4日 かやぶき民家で昔話を聞く会
- 8月 8日 体験学習 縄文土器づくり教室(土器づくり)
- 8月13日 企画展「遺跡からのメッセージ～金原遺跡最新出土品展Ⅱ」(10月25日まで)
- 8月29日 体験学習 縄文土器づくり教室(土器焼き)
- 9月 6日 「時を超えて～発掘現場現地見学会～」
- 9月 6日 遺跡セミナー「金原遺跡とその時代～全国の発掘調査事例から～」



郷土資料館利用のご案内

- ◇入館料 無料 ◇開館時間 9時30分~16時30分
- ◇休館日 毎週月曜日(その日が祝日にあたる場合は翌日火曜日も休館)
5月5日・11月3日は開館、それぞれ翌日が休館
年末年始(12月26日から1月6日まで)

資料寄贈者名簿

平成10年4月から6月までに民具や古文書等の歴史資料を寄贈していただいた方は、下記の通りです。

厚く御礼申し上げます。

ご寄贈いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。

(50音順・敬称略)

関根英夫	民具
吉岡郁子	民具
鈴木敏男	典籍
岩崎光子	古文書
矢部弘三	古文書

今後も、昔を語る様々な資料を収集してまいります。ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

コラムークルミの木

◆まるで熱帯地方のような強烈な日差しと蒸し暑い季節がやってきました。◆よく、「土用の丑の日にうなぎを食べると夏バテにならない」といいますが、これは江戸時代の発明家(エレキテルという発電機が有名)で、蘭学者だった平賀源内が最初に言いだしたのが始まりだそうです。◆暑いからといって冷たいものばかり飲んでいるとお腹をこわして、夏バテの原因になります。ご用心を。◆只今、町内の金原遺跡では平成16年に開かれる国体のアーチェリー会場として使われる(仮称)金原運動公園の工事に先立ち、発掘調査を行っています。そこで、今までに金原遺跡発掘調査で見つかった土器などの遺物や、発掘調査の現在までの経過を「遺跡からのメッセージ～金原遺跡最新出土品展Ⅱ」と題して、8月13日(木)から10月25日(日)まで展示を行います。また、それと関連して、9月6日(日)に金原遺跡探訪ツアーと題して発掘現場においての現地見学会と併せて遺跡セミナー(講演会)と「遺跡からのメッセージ～金原遺跡最新出土品展Ⅱ」の展示解説がセットになったツアを行います。くわしくは、巻頭の企画展「遺跡からのメッセージ～金原遺跡最新出土品展Ⅱ」特集をご覧下さい。広報みやしろ8月号にものっています。お問い合わせ、参加のお申し込みは郷土資料館 ☎34-8882まで電話にて、お願ひいたします。

宮代町郷土資料館だより 第13号
発行年月日 平成10年8月1日
編集発行 宮代町郷土資料館
〒345-0817 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地
☎0480-34-8882